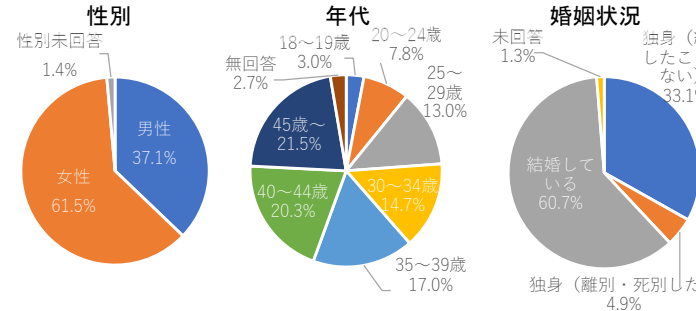


1 調査実施の概要

① 調査内容

- ・R5.8.4～8.21に実施
- ・札幌市在住の18～49歳の男女10,000人ずつ、計20,000人に調査票を送付
- ・有効回答数 4,053件(回収率20.3%)

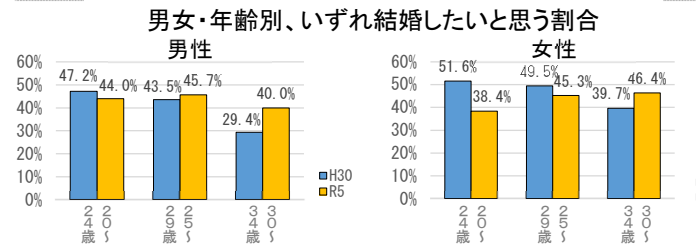
② 回答者の属性



2 調査結果の概要:独身者

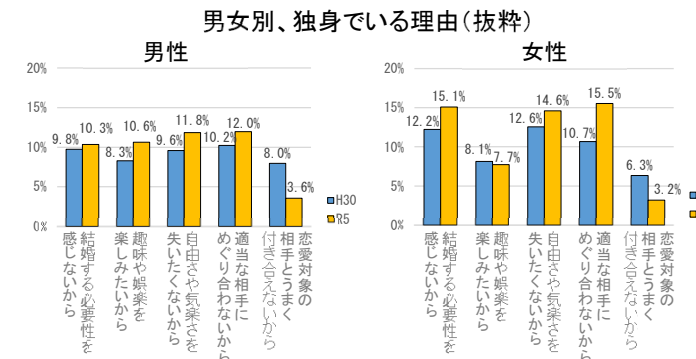
① 結婚に対する意欲

- ・「いずれ結婚したいと思う」の回答は、20代女性では前回※1を下回った一方、30代では男女ともに前回を上回る結果となった。



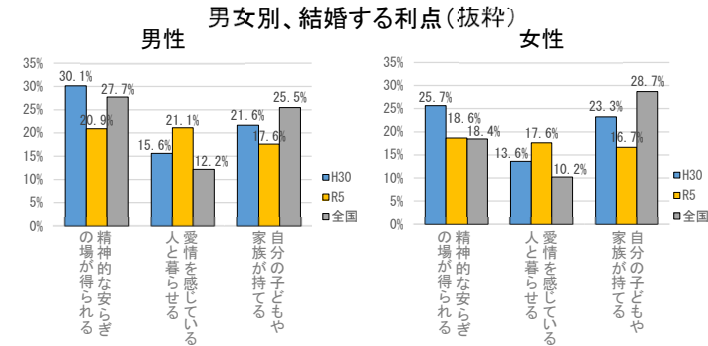
② 独身でいる理由

- ・男性では「恋愛対象の相手とうまくつきあえない」が減少、「趣味や娯楽を楽しみたい」「自由さや気楽さを失いたくない」「適当な相手にめぐり合わない」「金銭的ゆとりがない」が前回よりやや増加。
- ・女性では「結婚する必要がない」「適当な相手にめぐり合わない」が特に前回より増加。



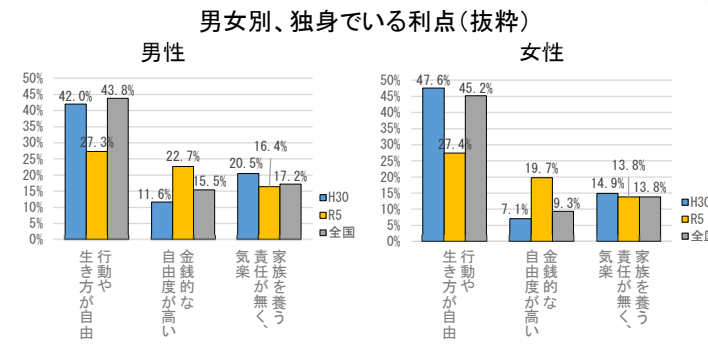
③ 結婚することの利点

- ・前回に比べ、男女ともに「愛情を感じている人と暮らせる」が増加、「精神的な安らぎの場が得られる」、「自分の子どもや家族が持てる」が減少となった。



④ 独身でいる利点

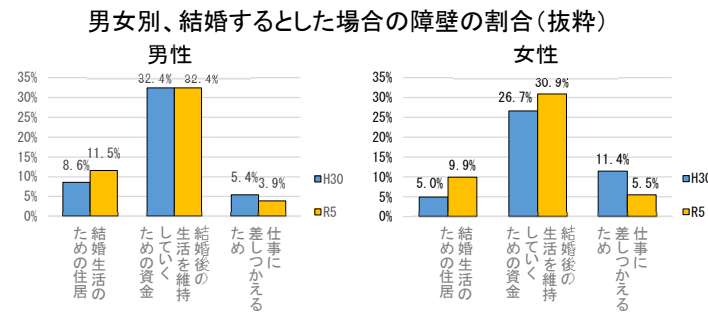
- ・前回に比べ、男女ともに「金銭的な自由度が高い」が大きく増加。一方、「行動や生き方が自由」が大きく減少となった。



⑤ 結婚の障壁

- ・前回と同様、「結婚後の生活を維持していくため資金」が男女ともに最も多い結果となった。
- ・女性では前回と比べて「結婚生活のための住居」、「結婚後の生活を維持していくための資金」が増加、「仕事に差しつかえるため」が減少となった。

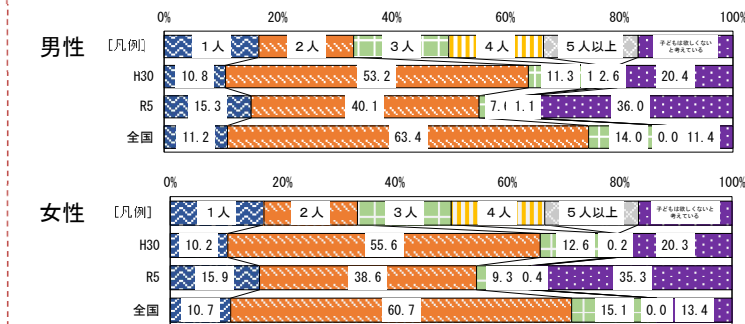
※H30年度調査の「仕事をやめる必要がある」「仕事(または学業)にうちこみたい」は、合わせて「仕事に差しつかえるため」とする。



⑥ 希望する子どもの数

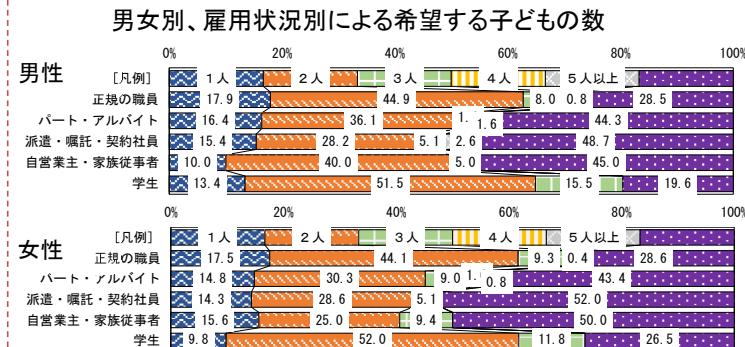
- ・男女ともに、「子どもは欲しくないと考えている」が大きく増加。

※全国調査の選択肢は、「1人」「2人」「3人以上」となっている。



⑦【雇用状況別】希望する子どもの数

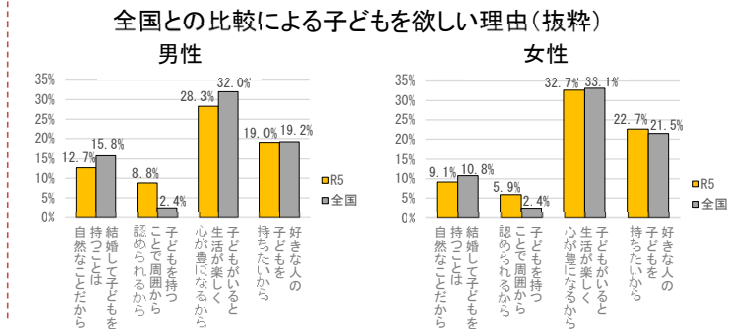
- ・男女ともに「正規の職員」では半数以上が複数の子どもを持つことを希望しているが、「派遣・嘱託・契約社員」では約半数が「子どもは欲しくないと考えている」と回答するなど、雇用状況による差が大きい。



⑧ 子どもを欲しいと考える理由

- ・全国※2と同様、「子どもがいると生活が楽しく心が豊かになるから」と回答した割合が最も高い。
- ・全国に比べて「子どもを持つことで周囲から認められるから」と回答した割合が高い。

※前回調査は該当質問なし。

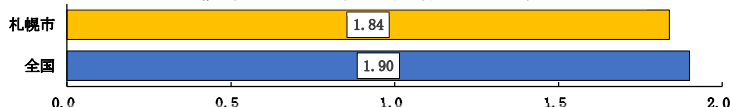


3 調査結果の概要：有配偶者

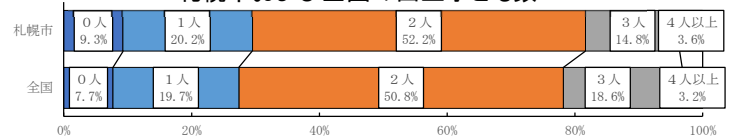
① 夫婦の出生力

- ・夫婦の最終的な平均出生子ども数である完結出生児数は、札幌市は1.84人で、全国の1.90人を下回る。
- ・人数別割合を全国と比べると、「0人」「1人」「2人」は全国に比べ札幌市で高い結果となった。

札幌市および全国の完結出生児数



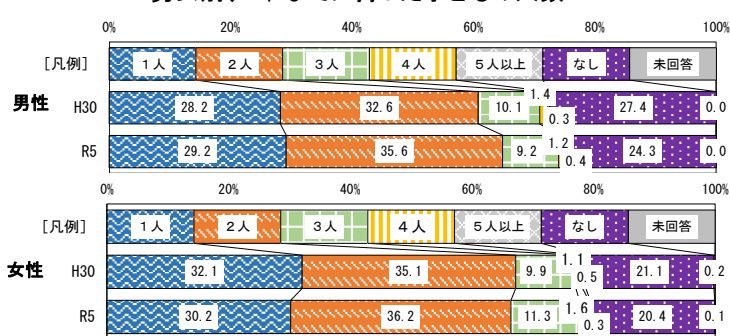
札幌市および全国の出生子ども数



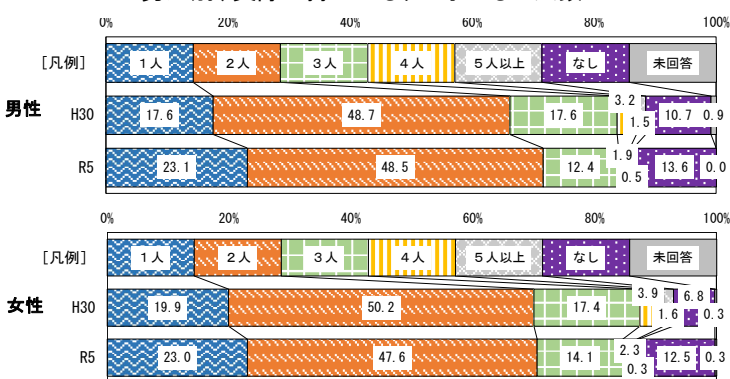
② これまでに持った子どもの数・実際に持つつもりの子どもの数

- ・実際に持つつもりの子どもの数は、男女ともに前回に比べて「1人」「なし」の割合が増加した。

男女別、これまでに持った子どもの人数



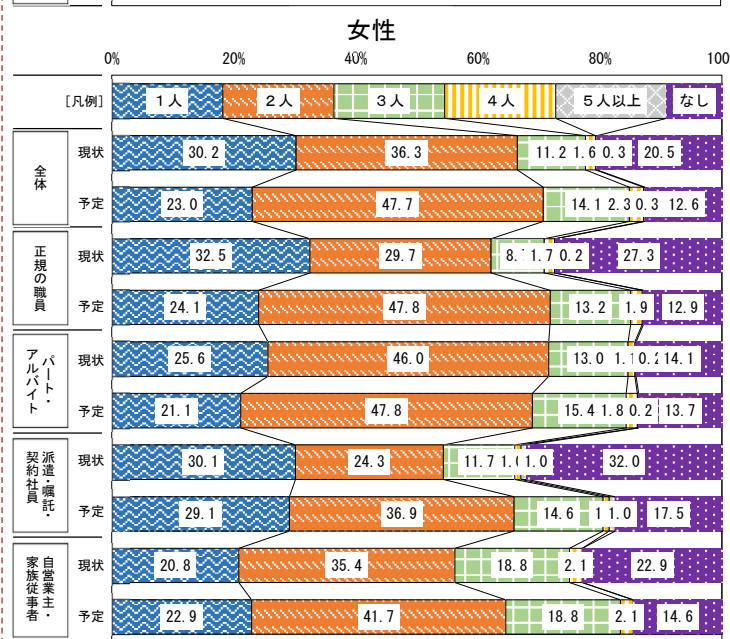
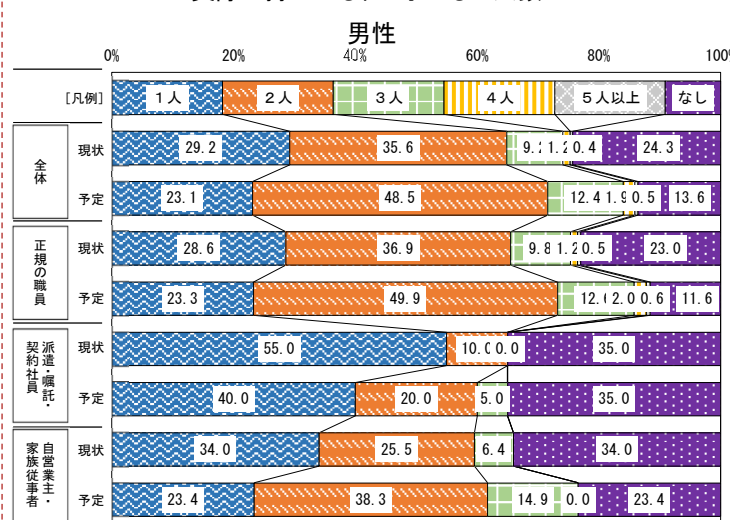
男女別、実際に持つつもりの子どもの人数



③ これまでに持った子どもの人数と実際に持つつもりの子どもの人数の差

- ・男女ともに現状の人数より予定の人数の方が複数の子どもを希望している割合が高い。
- ・男女ともに「派遣・嘱託・契約社員」では、現状の人数・予定の人数ともに少ない。
- ・特に男性については、「派遣・嘱託・契約社員」では現状・予定ともに「1人」「なし」の割合が他と比べ顕著に高い。

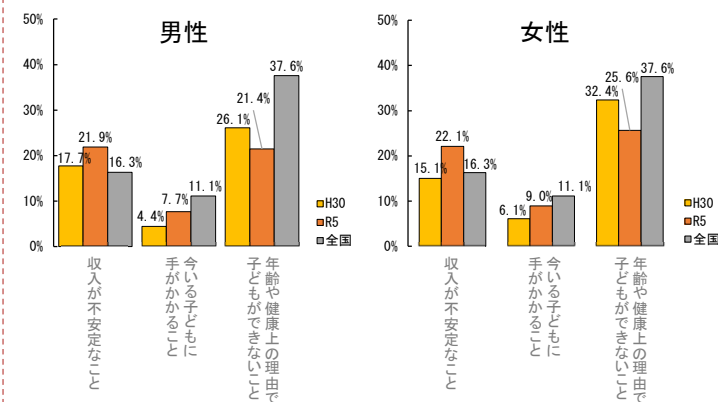
男女別、雇用状況別、これまでに持った子どもの数と実際に持つつもりの子どもの人数



④ 予定している子どもの人数が実現できない要因

- ・男女ともにH30および全国と比べて「収入が不安定なこと」の割合が高い。
- ・女性では「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」が最も多いものの前回および全国と比べると割合が低い。

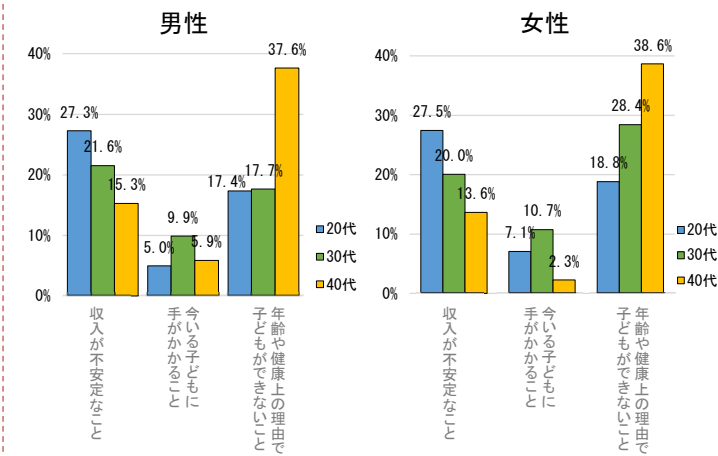
男女別、予定している子どもの人数が実現できない理由（抜粋）



⑤ 【年代別】予定している子どもの人数が実現できない要因

- ・男女ともに40代で「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」の割合が高い。
- ・「収入が不安定なこと」は年代が低くなるにつれて割合が上がる傾向にある。

予定している子どもの人数が実現できない理由（抜粋）（年代別比較）



※1…「前回」はH30年度札幌市実施の「次期未来創生プラン策定のための調査・分析」を指す
 ※2…「全国」はR3年度国実施の「第16回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」を指す